

# 会員総会資料 2024年度 A SEED JAPAN 事業計画(案)

資料3-1

## 1. 経営方針

2021年度に位置付けた3ヵ年方針の最終年度であった2023年度は、方針に沿って一定程度成果を残すことのできた1年でした。2024年度は、新たな事業や、新理事・新規メンバーを中心にこれまでにないアイデア・モチベーションをもって、新たな長期ビジョン3ヵ年方針の検討に向けた準備期間と位置付けたいと思います。

2023年度から実施してきた取り組みをより発展させていくために、ESGウォッチプロジェクトはメディアへのアプローチや気候変動以外の課題に関する資産運用会社へのアプローチを開始します。また新たに、メンバーからの提案で「サステナビリティ・cafe(仮)」を5月から月次で開催します。この企画では、ESGウォッチメンバーを中心に活動メンバーが自分自身の問題関心、興味のあることをみんなに発表し、話し合う場として開催していきます。そのほかにも、新たなメンバーを受け入れつつ、クラウドファンディングや自主事業も積極的に挑戦する1年にしたいと思います。

2025年度を見据え、A SEED JAPANのいわば“第二創業”(これまでの歴史や人脈、ノウハウ等を活用しつつも、次の世代を中心に団体の活動の刷新を図ること)も念頭に、話し合い議論していきます。

## 2. 事業

2024年度はESGウォッチプロジェクトのみが活動プロジェクトになります。

### ESGウォッチプロジェクト

#### 活動概要

市民一人ひとりがESGの重要性とその本質を理解し、環境・社会問題や政治・経済(金融)についての知識を持つ。そして、当事者意識を持って資産運用会社・個人投資家などのESG金融(投資)(※)に関するステークホルダーに働きかけ、持続可能で公正な投資を実現する。

(※)ESG金融(投資)とは、社会や企業活動の持続可能性には、企業への融資や投資に際して、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)に配慮することが大事であるという考え方

#### 2024年度Objective:プロジェクトの目標

1. 【対市民】一人ひとりがESGウォッシュを見抜くための知識を持っている
2. 【対金融セクター】ESGに関する資産運用会社の運用方針や取り組みが改善される

※ESGウォッシュ: ESGに関する資産運用会社の宣言・目標と実際の行動に、ギャップがあること。

## 2024年度Key Results: 達成指標と計画

### 1.【対市民】

#### 事業計画

i) 以下の勉強会・イベントを実施する。

i) -1 ESG投資について、気候変動(ESGのE)の観点で理解を深めるための勉強会・ヒアリングを実施する(3回)。

i) -2 年度の後半に、1年間の活動の成果、調査結果等を発表する活動報告会を実施する(1回)。

i) -3 新しいテーマを見つけるための活動(大学生・若者を対象に、サステナビリティに関する話題について話し合う「サステナビリティ・cafe(仮)」など)を実施する。

ii) ESGウォッシュを防ぐための心構えを宣言する「ESGウォッチ宣言」と「若者のESGウォッシュに対する意識調査」への回答を集める。

「宣言」を集める具体的取り組みとして、以下を実施する。

・「ESGウォッチ宣言」、ESGウォッシュの問題と具体例、「若者のESGウォッシュに対する意識調査」、「運用会社のESGの取り組みスコアリング結果」をまとめた普及啓発冊子「アクション・ガイド」を作成し、ウェブサイトやSNSで拡散する。

また、「アクション・ガイド」「ESGウォッチ宣言」の露出を高めるための取り組みとして以下を実施。

・アクション・ガイドをESGウォッチの特設キャンペーンサイトに公開する。

・「ESGウォッチライター」を募って、キャンペーンサイトにブログ記事を投稿する(月1回)。

・勉強会・活動報告会の場で、宣伝する(4回)。

・イベントのブース出展を行ない宣伝する(2回)。

・Instagramの投稿を活発化させる(月2回)。

※「アクション・ガイド」は、ESG投資においてウォッシュが存在するという問題を認識し、無くすための具体的な行動を促すものとする。

#### アウトプット

i)-1 勉強会・イベント参加者が、ESG投資や気候変動に関する政策・企業活動の課題について理解を深める(アンケートにより計測)。

i)-2 気候変動以外のESGウォッチプロジェクトの新しいテーマが定まる。

ii) 宣言の賛同者400人(内訳は下記)を集める。

・公式ウェブサイト及びESGウォッチ特設サイト経由で、200人が賛同する。

・勉強会・イベントに年間100人が参加し、内50人が賛同する。

・Instagramフォロワーを200人に増やし、内50人が賛同する。

・ブース出展で100人が賛同する。

### 2.【対金融】

#### 事業計画

i) 日本の大手資産運用会社15~20社ほどのESGの取り組み状況をスコアリングし、結果をプレスリリースで発

信する(年1回)

ii) スコアリング対象の運用会社にスコアリング結果を送り、ESGウォッシュ全般や気候変動に関する情報提供・対話を実施する

#### アウトプット

i) プレスリリースした内容がメディアに掲載される。

ii) 最低7つの運用会社と対話を行い、最低1社がこちらの情報提供に応じた運用方針・取り組みの強化の意志を示す。

・担当理事: かつ

・メンバー: まゆっち、もっぴー、さらでい、やっしー、ただひな、ぎょっくん、ゆかりん、みつもと、はまこう、おーちゃん

## 3. 管理

### 1. 事務局運営方針

・2024年度の事務局業務(主に管理業務)は、理事による作業部会(大坂、濱田、三本)の4人で行います。また、プロジェクト担当理事と連携し活動メンバーおよび運営メンバー募集を強化することで、新規活動メンバーの獲得を目指します。

・隔週1回の事務局会議を基本に、各自の業務の進捗状況、確認・相談を行い進めていきます。

・助成金の進捗管理、プロジェクトの運営・実行を進めていきます。

### 2. トレーニングについて

・新理事が生まれ、2023年度以上に2024年度はよりボランティアメンバーを中心にプロジェクトを運営していくことになるため、各メンバーのスキルアップ・チームワーク向上を目指すトレーニング企画を開催します。

### 3. マンスリーサポーターのお誘いについて

収入源の構造における寄付割合を増やすためにマンスリーサポーター獲得に向けた計画を検討します。

以上